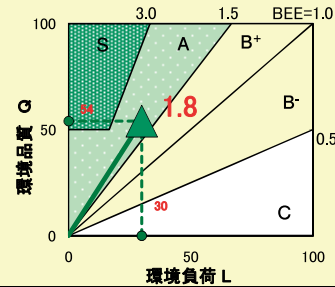
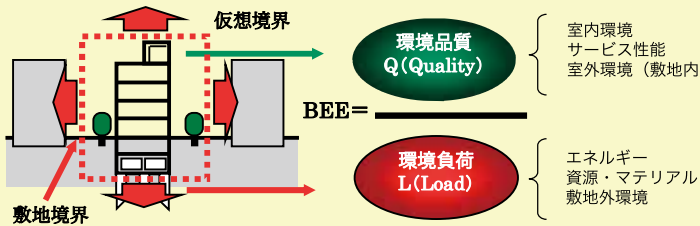


建築物環境総合性能評価システム (CASBEE) とは

産官学共同プロジェクトとして開発された、建築物の環境性能を評価し格付けする手法で、省エネルギーや環境負荷の少ない資機材の使用といった環境配慮だけではなく、室内の快適性や景観への配慮なども含めた建物の品質を総合的に評価するシステムです。

(CASBEE : Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency)

CASBEE 評価のしくみ



より良い環境品質(Q)の建築物を、より少ない環境負荷(L)で実現するための評価システム

建築物の環境品質 Q (Quality) のスコアを建築物の環境負荷 L (Load) のスコアで除して算出される指標である、建築物の環境性能効率 BEE (Built Environment Efficiency) により、5段階で格付けします。

ランク	評価	BEE 値ほか	ランク表示
S	素晴らしい	3.0 以上、かつ Q=50 以上	★★★★★
A	大変良い	1.5 以上 3.0 未満	★★★★
B+	良い	1.0 以上 1.5 未満	★★★
B-	やや劣る	0.5 以上 1.0 未満	★★
C	劣る	0.5 未満	★

建築物環境性能表示 (ラベル表示)

CASBEE 評価と重点項目である CO2 削減、みどり・ヒートアイランド対策、建物の断熱性、エネルギー削減、太陽光発電その他再生エネルギーの利用や自然エネルギーの直接利用について、建築物の環境性能をわかりやすく示しています。



例) 大阪府のラベル

再生可能エネルギー利用設備の導入状況

太陽光発電設備などの再生可能エネルギー利用設備が導入されているかどうかを示してします。桜マークの表示があれば、該当設備を備えた環境配慮建築物であることがわかります。

自然エネルギー直接利用

自然通風や屋光利用などのように、自然エネルギーを直接利用しているかどうかを示しています。

CASBEEの総合評価

CASBEEの評価項目に基づき、環境性能を総合的に評価した結果を示すもので、星マークが多いほど優れています。

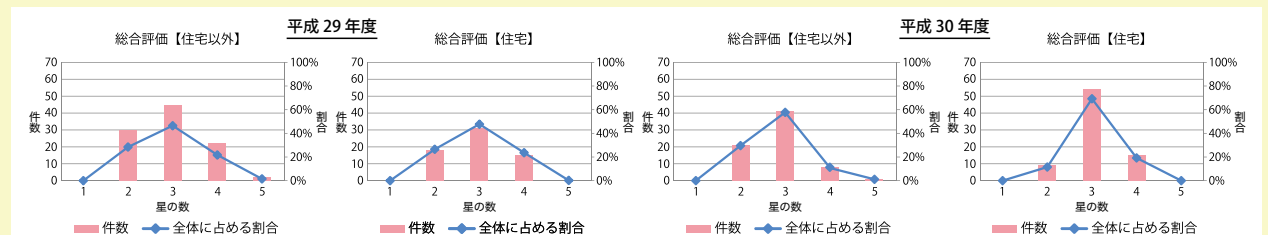
重点項目の取組みの評価

具体的な取組みの事例

CO2 削減			
	トップライトによる自然採光	高炉セメントの使用 既存地下躯体の利用 既存建築躯体の継続使用 リサイクル建材の活用	バイオガス施設 (メタン発酵槽)
みどり・ヒートアイランド対策			
	屋上緑化	ウォーターミスト設置	敷地緑化
	建物の断熱性		
Low-e 複層ガラス		ルーバーによる日射遮蔽	

届出建築物の総合評価結果の分布状況

届出全体に占める S (星 5 つ) または A ランク (星 4 つ) の割合は、住宅、住宅以外のいずれの用途においても 10~30% 程度となっています。特に S ランクの建築物は届出全体の数%程度と少なく、環境配慮に優れた建築物であるといえます。



※平成 29・30 年度に大阪府の条例に基づき届出のあった建築物の CASBEE 総合評価の結果について、令和元年 11 月末時点で届出内容の確認が完了しているものを対象として集計